

Title	眞淵の古今集研究に関する一問題
Author(s)	宇佐美, 喜三八
Citation	語文. 1950, 1, p. 1-8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68360
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

前号論文補正

宇佐美 喜三八

前号の拙稿「眞淵の古今集研究に関する一問題」の中で、三宅氏の説を挙げたが、三宅氏は「荷田春滿」の中で、「古今集左注論」を在滿の作と見ることは否定に傾いてをられるのであって、それを在滿の著述目録の中には入れてをられない。同氏はまた「賀茂眞淵の皇国学」(「国語文化」昭和十七年三月号、後、同氏著「国学の学的体系」に所収)において、「左注論」は主として眞淵が書いたものであらうとしてをられる。なほ、「樟蔭文学」第二号に書いた拙稿の中でも、「野村氏の論拠によつては未だこれを眞淵の著作とも決して難いとする説」として、三宅氏の「荷田春滿」を註記したが、前後の文の関係から、三宅氏が眞淵説を否定してをられるやうな意味にとれる。これは私の書き方が粗漏であったためで、三宅氏の御意見は右の通りである。ここに補正して三宅氏には謹んで御詫びする次第である。